

冊子「続・続 私的アンソロジー” しあわせの構図 ”」 発刊記念開催

## 写真展 「しあわせの構図」

### ～ 私の創作活動の原点 ～

写真を始めた学生時代から今日まで半世紀以上にわたる年月が経過しております。その間の作画活動は様々な変化がありました。今回展示する写真は私の写真歴にとっては大きなエポックとして位置づけている作品で、かつて30年神奈川県在住のうちに写真展（3人展や個展）を開催しております。

その後Uターンしてふるさと山形で起業して20年以上経過していますがこの作品を写真展として展示する機会がなく念願となっておりました。

この度、村山総合支庁殿の計らいによりミニギャラリーで1ヶ月という長い期間に展示する機会をいただき皆様に紹介することができることは嬉しくもあり大変有難いことです。

当時、この写真展用作品をまとめながら「自分が対峙したものは何か、何に対してシャッターを切ったか」を顕在化する作業にも時間を費やしたことを思い出します。

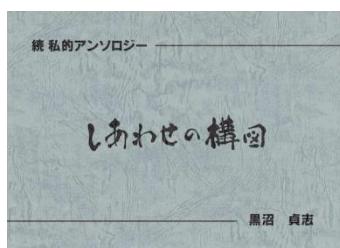
私たちのまわりに日常的にありながら意識して視ないと捉えにくい**人のあり様**や**人と人との関係**を「**しあわせ**」という切り口で5つのセクション「家族」「二人の世界」「円熟の時」「男の世界」「オアシス」に構成してみたのがこの作品【**しあわせの構図**】です。

拙プロフィールにも記しているようにこの個展を終えてしばらくしてUターンを決意して起業した後は生活の潤滑剤とも言える写真や写真以外の表現手段が広がりました（例えば短歌、そして短歌と写真の”組み合わせの妙”が生まれる「**写真短歌**」など）。

何れにしても生業以外の「<sup>たしな</sup>嗜み」においての自身の立ち位置の根底にはこの写真展のタイトル「しあわせの構図」があると思っております。

そして、このキーワード「しあわせの構図」は次に記すその後のアクティビティの核となっています。

- DVD 私的アンソロジー（自分史）
- 遊縁の衆として歌集【遊縁】
- 冊子およびデジタルブック「続 私的アンソロジー “ しあわせの構図 ”」
- 冊子およびデジタル化（PDF）「続・続 私的アンソロジー “ しあわせの構図 ”」



なお、今回はプロフィールに記載の作者のこれまでの創作物&関連資料も併せて展示紹介しております。

## ～ 作者(黒沼 貞志)のプロフィール ～

- ♪1947年 山形市生まれ（山形東高、山形大学工学部を卒業）
- ♪1969年 日揮㈱（現日揮HLDS）入社  
企画・プランニング・基本設計・建設・運転・プロジェクトマネジメント・営業などを通して海外および国内産業界の各種ソリューション（課題解決）・プラント建設・運転などを担当。
- ♪1995年 三人展（写真）@横須賀市
- ♪1996年 個展“しあわせの構図”（写真）@横浜ランドマークプラザ
- ♪1999年 日揮㈱（現日揮HLDS）を早期退職してUターン
- ♪2001年 ㈱SKソリューションズを設立  
経営コンサルティング業の傍らCB推進コンソーシアム（プロジェクトマネージャー）、山形市福祉のまちづくり活動委員会（事務局長）、おいしい山形の食と文化を考える会（事務局長代理）、（LLP）山形ふるさと企画舎（代表）、地域力共創推進コンソーシアム（代表）、NPOパワーアップコンソーシアム（代表）、東北まちづくりオフサイトミーティング（運営委員）などを通じて地域力共創に関わる。
- ♪2009年 DVD 私的アンソロジー（自分史）を発売
- ♪2015年 遊縁の衆として歌集【遊縁】を発売
- ♪2016年 ㈱SKソリューションズを解散。その後SKソリューションズとして活動中
- ♪2018年 冊子&デジタルブック「続 私的アンソロジー“しあわせの構図”」を発売
- ♪2019年～山形市立図書館常設コーナーⅠ「”写真短歌”への誘い」開設中
- ♪2020年～山形市立図書館常設コーナーⅡ「”表現の杜”への誘い」開設中
- ♪2023年～マイタウンあさひ（新聞屋さんのミニコミ紙）に「撮る×詠む」～写真短歌への誘い～を掲載中
- ♪2023年 冊子「続・続 私的アンソロジー“しあわせの構図”」を発売  
同冊子のデジタル化（PDF）を調べSKソリューションズのHPに掲載。

以上の内容の主なものはHP（<https://sk-solutions.org/>）に掲載すると共にメールマガジンやFacebookなどで発信中。

# ～「しあわせの構図」の写真図録 -1～

## しあわせの構図 (全 22 枚)

■三人展(1995) / 個展(1996)



### 家族



1994年神奈川報道写真連盟月例コンテスト 佳作



### 二人の世界

1994年神奈川報道写真連盟公募展 特選

1994年神奈川報道写真連盟新会員  
選抜コンテスト 入選



1994年全日本写真連盟神奈川本部  
撮影会 特選



1995年全日本写真連盟  
神奈川本部撮影会 準特選



1996年神奈川報道写真連盟公募展  
特選

### 円熟の時

1995年全日本写真連盟神奈川本部撮影会 推薦  
選評：この作品の面白さは日本丸という対象を手すりに持たれてスケッチする婦人、そして、それを対象にしている撮影者という二重構造や大胆なフレーミングにある

1993年神奈川報道写真連盟撮影会推薦

選評：この“祭の顔役”はカラー作品の評価基準である“色よく、無駄なく、はっきり”において群を抜いていた



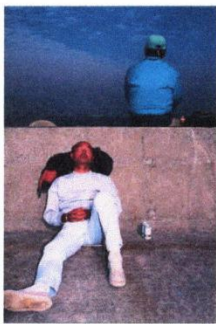


## ～「しあわせの構図」の写真図録 -2～



1995年横須賀市民文化祭「市民写真展」文化財団賞  
 審査員土田ヒロミ氏の講評：この写真には、「見ること」が二重の構造に仕組まれている。「桜を見ている二人を」見ることになる。語らう二人が見ているだろう視線の終止点を、この写真を見ている者は探すことになる。  
 そこには、満開の桜があり、その下では人影が見える。二人の視線に誘導されながら眼前の風景のディテールまでつい見せられてしまう面白さがある

### 男の世界



1995年横須賀市写真連盟  
 公募展神奈川原知事賞

### オアシス



1995年横須賀市写真連盟  
 公募展連盟賞



横須賀市市民公募展特選

1995年神奈川報道写真連盟公募展 大賞  
 審査員長江成常夫氏の講評：スナップ写真は周りの身近な風景や題材であっても撮影者の視点次第でしっかりとした作品になりうる。その観点で日常に題材を求めた大賞の「とまり木」は駅前のなにげない風景の中から社会の世相を切り撮っており、対象に向かう視点と作品作りの力量は評価できる

